

がん検診の注意事項

胃がん検診

◎飲食について

◆消化の良い軽めの食事であれば右表の時間までにとることができます。以降は、あめ、ガム、お茶、たばこ等も控えてください。水や白湯のみ検査 2 時間前までであれば、コップ 1 杯程度飲んでもかまいません。

受診日程	飲食を済ませる時間
午前	前日 午後 9 時
午後	当日 午前 7 時

◎服薬について

高血圧、心臓病、血液抗凝固薬等は、検査の 2 時間前までに水・白湯で服用してください。

◎糖尿病治療中の人へ

受診日程	糖尿病の薬(インスリン注射)を服用(使用)する時間
午前	・前日の夕食は消化の良い軽めの食事をとり、糖尿病の薬は服用(使用)する ・当日の朝食(あめやガムを含む)はとらず、朝の糖尿病の薬は服用(使用)しない
午後	・朝食は消化の良い軽めの食事をとり、糖尿病の薬は服用(使用)する ・昼食はとらず、昼の糖尿病の薬は服用(使用)しない

※低血糖になるおそれがありますので、ブドウ糖などをお持ちください。

◎主治医の許可が必要な人 高血圧や心臓病等、毎日飲んでいる薬がある

◎検診を受けられない人(医療機関等での胃内視鏡による検査をおすすめします)

- ◆ペースメーカー、植込型除細動器(ICD)が入っている ◆人工透析をしている
- ◆妊娠中または妊娠の可能性がある
- ◆持続グルコース測定器、インスリンポンプを装着しており、取り外しができないまたは取り外しの許可を主治医に確認していない
- ◆下剤、バリウムでじんましんなどのアレルギー症状(アナフィラキシーショック)がでたことがある
- ◆腸閉塞・腸捻転の既往がある ◆バリウムが肺や気管に入ったことがある(誤嚥)
- ◆胃をすべて切除している
- ◆在宅酸素療法をしている ◆人工肛門を造設している
- ◆消化管の穿孔(穴が開いた)で治療を受けたことがある
- ◆食道や胃、十二指腸および小腸・大腸(潰瘍性大腸炎、クローン病、大腸憩室炎など)の病気で服薬(注射)治療もしくは定期的に通院している
- ◆過去 1 年以内に次の手術を受けたことがある(腹腔鏡手術を含む): 腹部、心臓、呼吸器疾患、頭部、運動器(背骨関節など)、前立腺、卵巣、子宮などの婦人科疾患
※ 2 か月以内に胃ポリープや大腸ポリープ内視鏡手術を含む
- ◆治療していない鼠径ヘルニアがある ◆脳出血・脳梗塞などの脳血管疾患、心筋梗塞・狭心症などの虚血性心疾患、てんかんを 1 年以内に起こしたことがある
- ◆メニエール病の治療中または自覚症状がある ◆腎臓病などで水分制限がある
- ◆撮影台から転落のおそれや撮影が困難、自立歩行が困難または撮影台の手すりを握ることが難しい、検査のための体位変換(寝返り)ができない、体重が 135 kg 超
- ◆検診当日を含め、3 日間以上排便がない ◆検診時の血圧が 180/110mmHg 以上
- ◆糖尿病治療中で、検診当日に食事をしないで糖尿病の薬を飲んだ、インスリン注射を使用した
- ◆脳圧亢進シャント(VP シャント)が入っている

※上記以外でも当日の問診などにより、検査をご遠慮いただく場合があります。

大腸がん検診

- ◎受診歴がある人や検診を予約された人に、検診日のおおむね 2 週間前に容器を郵送します。提出日当日・前日・前々日の 3 日間のうち 2 日分の便をとり、検診当日に容器を会場へお持ちください。

肺がん検診

◎胸部エックス線検査

65 歳以上の方は、結核検診として年 1 回の胸部エックス線検査が義務付けられています。

◎検診を受けられない人

- ◆持続グルコース測定器・インスリンポンプを装着しており、取り外しができないまたは取り外しの許可を主治医に確認していない
- ◆妊娠中または妊娠の可能性がある

◎喀たん細胞診

胸部エックス線検査を受け、次の①②のいずれかに該当する人のみ受診できます。

- ① 50 歳以上で喫煙指数(1 日の本数×喫煙年数)が 600 以上の人 ※加熱式たばこを含む
- ② 40 歳以上で重クロム酸、石綿等を取り扱ったことがある人

◎胸部 CT 検診

次の①②の両方に該当する人が別日で受診できます。健康づくり推進課へお申し込みください。

- ① 上越市が実施する胸部エックス線検査を 12 月末までに受診し、精密検査の必要がない人
- ② 50 歳以上で喫煙指数(1 日の本数×喫煙年数)が 600 以上の人または 40 歳以上で重クロム酸、石綿等を取り扱ったことがある人 ※加熱式たばこを含む

◎検診を受けられない人

- ◆ペースメーカー、植込型除細動器(ICD)が入っている

子宮頸がん検診

- ◎生理中の方はご遠慮ください。また子宮全摘手術を受けている人、出産後(自然分娩、帝王切開)6 か月が経過していないまたは 6 か月経過しているが出血症状がある人、中絶後 3 か月が経過していないまたは 3 か月経過しているが出血症状がある人、子宮がんの治療中または子宮頸部の異常で定期的に医療機関を受診している人、妊娠中または妊娠の可能性がある人は医療機関で受診してください。

◆市が実施する子宮頸がん検診は、年度内に医療機関が集団検診のどちらか 1 回受診できます。年度内に 2 回以上受診された場合は、全額自己負担となります。⇒ 17 ページ

乳がん検診

◎検診を受けられない人

- ◆持続グルコース測定器、インスリンポンプを装着しており、取り外しができないまたは取り外しの許可を主治医に確認していない
- ◆6 か月以内のケガや手術で胸部に傷口がある ◆乳房の撮影体位(姿勢)が保てない
- ◆妊娠中または妊娠の可能性がある、授乳中または卒乳 6 か月以内である
- ◆しこり等の自覚症状がある、豊胸手術を受けた*、皮下埋込型ポートが入っている、ペースメーカー、植込型除細動器(ICD)、脳圧亢進シャント(VP シャント)が入っている
※ヒアルロン酸注入、脂肪注入、生理食塩水バッグも含まれます。

◎検診を受ける部位に関して治療中または経過観察中の方は、検診の受診可否についてかかりつけ医にご相談ください(かかりつけ医の許可があっても受診できない場合があります)。

◎がん検診で「要精密検査」となった場合は必ず精密検査を受けてください。⇒ 8 ページ